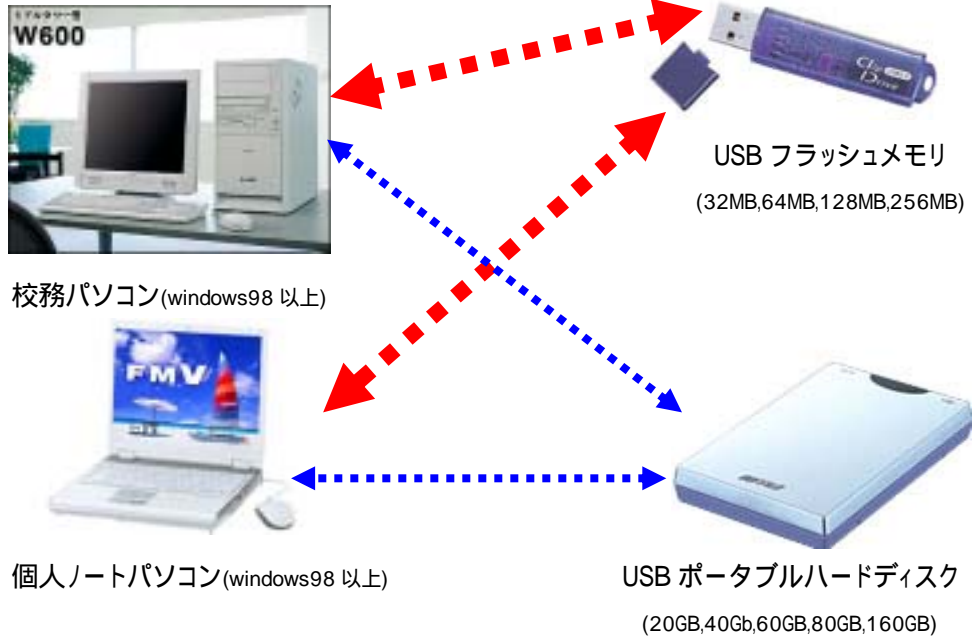


# 情報システム管理委員会だより

## データの取り扱い方・ワンポイントアドバイス！！



### (準備するもの)

- (1) USB フラッシュメモリ(64MBで十分です)3、500円くらい(一時保存用として便利)
- (2) USB ポータブルハードディスク(40GBで十分です)20、000円くらい(バックアップ用)

### (使い方)

- (1) 校務パソコンや個人のノートパソコンのUSBコネクタにUSBフラッシュメモリを刺して、フロッピーのようにデータを保存したり、開いたりする。場所をとらず、衝撃に強くケイタイストラップにつければ、いつでもどこでも利用できる。ただし、USBコネクタがあるパソコンでのみ使用が可能。また、windows95は対応していない。Windows98は専用ソフトが必要。

### (使い分けの注意)

- (1) USBポータブルハードディスクは記憶容量が大きいので、バックアップ用として便利。直接データを開いたり、保存したりしてもよいが、ちょっとした衝撃で壊れやすいので注意が必要。
- (2) USBフラッシュメモリは記憶容量が小さいがフロッピー50枚分以上ある上に、衝撃に強いのでデータのちょっとした移動用に便利。ただし、バックアップはとらないと、静電気で壊れることがある。また、小さいので紛失する恐れがあるので注意が必要。

### (ワンポイント)



USBフラッシュメモリ(64MB)

フロッピーディスク45枚分

ハードディスクのようにフォルダを作成し、分類して保管しながら作業すると便利。フロッピーのようにフォルダを作成せず、ワープロや表計算や他のファイルを一箇所に保管すると探すのが大変な上に、間違って消す恐れがあり、効率が悪くなるのでフォルダごとに管理するとよい。



USBポータブルハードディスク(40GB)

フロッピーディスク280万枚分

USBタイプの電源は不要。小型で余計な電源ケーブルがいらないので取り回しが便利。衝撃によいので、大切に扱う必要がある。また、記憶容量が大きいので、壊れると一瞬にデータを消失するので、不必要に大きな記憶容量のタイプは必要ない。(例:20GB、40GB程度が無難)



3.5インチフロッピーディスク(1.44MB)

ワープロ文書100個くらい、もしくは、デジカメ写真5枚程度保存

フロッピーは記憶容量が小さく、さらに速度が遅い。また、衝撃、磁石、タバコの煙に弱いし、2、3年で壊れます。NECのPC98時代の1.25MBフォーマットされたものは最近のパソコンでは読み書きできない不都合もたまに起きます。必要最小限にし、出来るだけ新品を使いましょう。

### (購入時のポイント) USBとは・・・Universal Serial Busの略

USBには2種類ある。USB1とUSB2である。前者は古い規格、後者は新しい規格で、スピードが100倍違う。ただし、パソコン側のUSBコネクタがUSB2の規格でないとスピードはUSB1と同じになり遅くなる。購入時は出来るだけUSB2の規格の製品を購入すると良い。記憶容量はいろいろあるので用途に合わせて購入できます。あまり大容量はお勧めしません。